

マルチベース

下塗り用 樹脂プasterー【内・外部用】

日々、現場に溢れる不満の声や問題点に耳を傾け、
解決を目指し開発されたマルチベース。

様々な特長を持つこの製品が現場の作業効率と、
住宅環境を新しくします。

特長 1

広範な下地材・塗り壁仕上げ材に適応。

石膏プasterーボード・合板・コンクリート・モルタルいずれの下地にも塗り、
漆喰・珪藻土・砂壁など、各種仕上げ材の下塗り材として使用できます。

特長 2

一材型だから、現場では水を混ぜるだけ。

製品による品質のばらつきがなく、安定した品質が得られます。
缶・ボトルなどの廃材も出ません。

特長 3

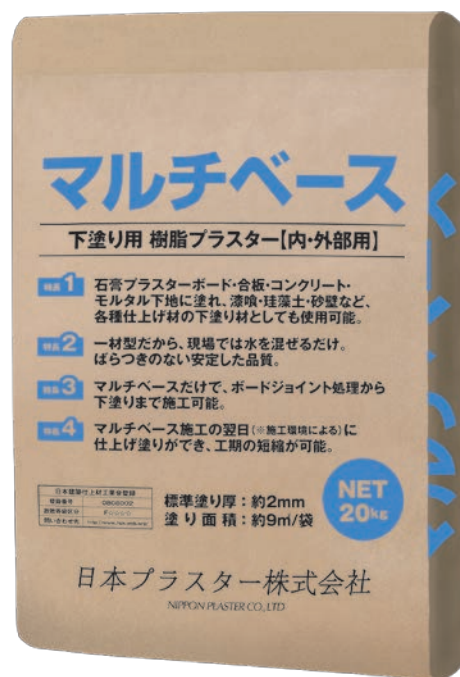
ボードジョイント処理にも対応。

マルチベースだけで、ボードジョイント処理から下塗りまで施工が可能です。
また、適度な水引き調節が、仕上げのムラをなくします。

特長 4

工期の短縮が可能。

マルチベース施工翌日(※)には仕上げ塗りができ、現場での工期短縮に繋がります。
(※)気温・湿度などの施工環境により異なります。



日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0808002
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

標準仕様

製品名	適用部位	適用仕上材	適用下地	用途	標準塗り厚	塗り面積	標準調合
マルチベース	内・外壁	漆喰・砂壁 珪藻土等	石膏プasterーボード・合板 コンクリート・モルタル	各種仕上げ材の下塗り ボードのジョイント処理	約1.5mm	約12㎡/袋	粉体1袋 (20kg)あたり 清水7.5ℓ

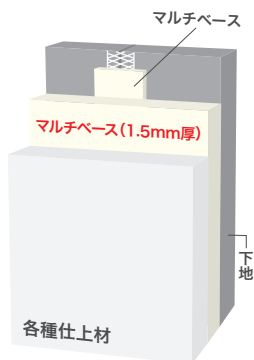
今も明日も、塗り壁。 The way of NURI-KABE

日本プasterー株式会社

マルチベースの使用法

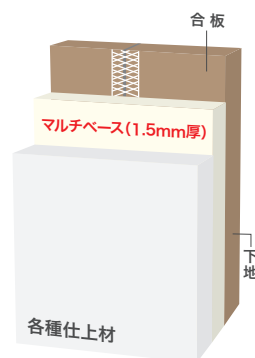
石膏プasterボード(PB)下地

- 1 練り混ぜ (固練り) マルチベース1袋+清水6.5ℓ
- 2 ジョイント処理
 - ペベルエッジボード下地
石膏PBのVカット部に、マルチベースをコテで埋め込み、ファイバーテープを貼り付けてください。さらにその上にマルチベースをこするように塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。ジョイント部分が盛り上がらないよう、余分な材料は取り除いてください。
 - スクエアエッジボード
石膏PBのジョイント部に、ファイバーテープを貼り付けてください。その上にマルチベースをこするように塗り付け、ファイバーテープとなじませてください。ジョイント部分が盛り上がらないよう、余分な材料は取り除いてください。
- 3 釘頭の処理
石膏PBに打ち込んだ釘頭にも、固練りしたマルチベースをこするように塗り付けてください。
翌日(寒冷期は中1日あける)
- 4 練り混ぜ マルチベース1袋+清水7.5ℓ
- 5 塗り付け
マルチベースを下ごすり後、追っかけて所定の塗り厚に塗り付け、金鏝で平滑に押さえてください。
- 6 養生
マルチベースを塗り付け後、通常は丸1日以上あけて、仕上げ塗りができます。寒冷期の場合は、3日以上あけてから仕上げ塗りを行ってください。



合板下地(耐水合板を除く)

- 1 アク止めシーラー塗布
市販品の合板用アク止めシーラーを、刷毛等でムラなく塗布してください。
 - 2 ジョイント処理
合板のジョイント部に、ファイバーテープを貼り付けてください。
 - 3 釘頭の処理
 - 4 練り混ぜ
 - 5 塗り付け
 - 6 養生
- 3~6は石膏プasterボード下地と同様です。



モルタル・下地調整済みのコンクリート下地

- 1 下地の清掃
- 2 NPシーラック3~5倍液塗布
1~2時間後
- 3 練り混ぜ マルチベース1袋+清水7.5ℓ
- 4 塗り付け
マルチベースを下ごすり後、追っかけて3mm厚程度塗り付けてください。そこにスーパーラック/ノンネットを伏せ込み、金鏝で平滑にしてください。
- 5 養生
マルチベースを塗り付け後、通常は丸1日以上あけて、仕上げ塗りができます。寒冷期の場合は、3日以上あけてから仕上げ塗りを行ってください。



●気温が5℃以下の場合、施工は見合わせてください。●混水量は守ってください。混水の過多・過少により、不具合が発生する場合があります。●必ずマルチベースを完全に乾燥させてから仕上げ塗りを行ってください。●仕上げ材は、耐アルカリ製品をご使用ください。

マルチベースの性能

試験項目		試験結果	
付着強さ (N/mm ²)	標準養生	石膏プasterボード下地	0.2 石膏プasterボード破壊
		合板下地	0.5
	浸水後	モルタル下地	0.6
		モルタル下地	0.5

※記載の数値は自社での測定値であり、保証値ではありません

注意事項

〈使用上の注意〉

- 取扱いは必ず保護具(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。
- 〈応急処置〉
- 目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

〈運送上の注意〉

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 湿気、水濡れに注意してください。
- 〈廃棄上の注意〉
- 都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
- 〈漏出時の注意〉
- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。